



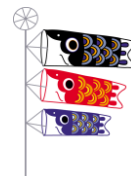
小金小だより 5月号

令和5年4月28日
松戸市立小金小学校
校長 西郡 泰樹

校訓 なかよく・ただしく・たくましく

「蕘の波と 雲の波 重なる波の 中空を…」

まもなく何をするにも気持ちのよい五月を迎えます。ここ数年、新型コロナウイルスのために消化不良のGWとなっていました。今年はいろいろな楽しみがありそうです。しばし学校から離れていろいろな経験をしたり、違う環境の中で過ごしたりできるとよいですね。



GWの終わりには子どもの日があります。5月5日端午の節句です。そもそもは古代中国から厄払いの風習が起源のようです。梅雨期には病気や災い起きやすいので、そうしたことから守るために菖蒲を使って邪気払いをしたのだそうです。やがて菖蒲を尚武や勝負にかけ、武家社会における家長制度の男の子のお祝いとなっていったようです。鯉のぼりも、現在のようになったのは、戦後になってからのようで、以前は黒色の鯉のぼりだけだったといわれます。それに紅い色の鯉のぼりも加わり、やがて今のような色々な色の鯉のぼりがみられるようになりました。歌にも「♪大きい真鯉はお父さん 小さい緋鯉は子どもたち」とあります。お母さん鯉は？となりますが、1964年の東京オリンピックあたりから、緋鯉をお母さんとし、子どもたちは青や緑で表されるようになったとのこと。そういえば、カラフルな吹き流し。これも邪気を払う意味があるようです。こうして調べていくと、こどもの日だけでいろいろな歴史やいわれがあるものです。チマキや柏餅、兜、菖蒲湯、橘……。他にもいろいろ興味がありますが、とにかく、子どもたちがこれからも元気に成長していくことを願ってやみません。

学校では、連休明けから本格的に運動会の練習に取り組みます。4月のスタートから学校生活にも慣れてきたところですが、ここで連休となります。そしてまた、連休明けから少しずつ暑さも増す中で、運動会練習が本格的に行われます。連休中もなるべく規則正しい生活を心がけるようにしていただき、蕘と雲の重なる波にも乗って、運動会当日におけみんなて頑張っていきます。

子どもたちの練習の成果を、多くの方々にご覧いただきたいのですが、今年は新型コロナウイルス感染対策が軽減されたとはいえ、何分狭い校庭のため、以前のように地域やたくさんの方々に参加いただくのは厳しいと考えております。申し訳ありませんがご理解いただきたく存じます。

今月も、子どもたちの頑張りを応援いただき、本校の教育活動につきましては引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

教育はみんなて 校長 西郡 泰樹

1年生をむかえる会



21日に1年生を送る会を行いました。全校児童に見守られながら、6年生と1年生がペアになって入場しました。1年生も小金っ子の仲間入りです。

3年生交通安全教室



3年生が交通安全教室を行いました。交通ルールを学んだり、実際にコースを走ったりしました。自転車に乗る時は、ヘルメットを着用しましょう。